

船舶事故等調査報告書

平成24年12月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012門第72号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成24年2月26日 18時00分ごろ
発生場所	大分県中津市中津港 中津港北防波堤灯台から真方位216°700m付近 (概位 北緯33°36.7′ 東経131°14.7′)
事故等調査の経過	平成24年5月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 豊栄丸、150トン 134557、福德海運有限会社 B バージ ほうえい、約1,772トン なし、福德海運有限会社
乗組員等に関する情報	船長A、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	A なし B 船底外板に擦過傷
事故等の経過	A船は、船長Aほか5人が乗り組み、海砂2,550m ³ を積載したB船を押航し、荷揚げのために中津港を航行中、B船の船首に3人、船尾に2人を配置し、A船の操舵室で船長Aが1人で操船をしていたところ、平成24年2月26日18時00分ごろB船に衝撃を感じたことから、A船の機関を停止してB船の各所を点検したが、浸水等の異状は見付からず、18時20分ごろ、A船は、B船を押して自力で着岸した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期、潮高 約47cm（中津港） 日没時刻：18時09分ごろ
その他の事項	中津港入港前に確認した喫水は、A船が船首約3.70m、船尾約4.60m、B船が船首約5.40m、船尾約6.00mであった。 本事故発生当日の中津港の潮汐は、干潮時刻が17時38分、潮高約45cm、満潮時刻が23時42分、潮高約305cmであった。 海図W1246の記載によれば、本事故発生場所の水深は約5.5m～5.7m、底質は泥であり、錨泊等に適さない場所となっている。 船長Aは、中津港にはこれまでに約400回、月平均約5回入港していた。

<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>A あり、B なし A なし、B なし A なし、B なし</p> <p>A 船は、中津港において、干潮後間もない上げ潮初期の余裕水深がない状況で海砂2,550m³を積載したB船を押航して着岸しようとしたことから、B船が港内の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、A船が、中津港において、干潮後間もない上げ潮初期の余裕水深がない状況で海砂2,550m³を積載したB船を押航して着岸しようとしたため、B船が港内の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自船とバージの喫水、潮汐の状況及び水深を勘案し、十分な余裕水深を確保して離着岸を行うこと。